

# ザンビア医師が見学

## AMDA 連携事業 新見の遠隔システム

国際医療ボランティア  
AMDA (本部・岡山市  
檜津) と、JICA (国  
際協力機構) が連携しワ  
クチン普及や健康改善事  
業を展開しているアフリ  
カのザンビア・ルサカ市  
から、同事業の研修生二  
人が八日、新見市を訪れ、  
新見医師会が光ファイバ  
ーを活用した実証実験を  
進めている「遠隔在宅医  
療支援システム」を見学  
した。

ポーンフェイス・ムザ  
ンターニヤン(三三三)、イ

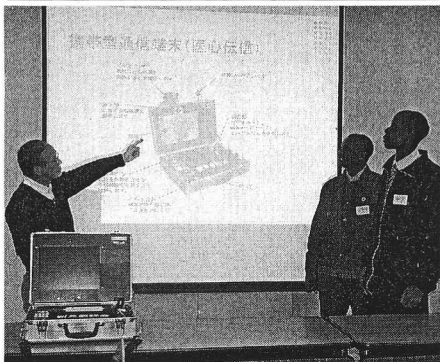
研究會世話人の太田隆正  
・太田病院副院長から、

グナシアス・ブロンゴさ  
ん(三三三)。二人ともルサカ  
市保健職員で、初期診療  
などの治療行為を行う現  
地の「準医師」資格を所  
持。十一月下旬に来日し、  
岡山、新潟の両県内で医  
療システム、行政や地域  
住民とのかかわりを学ん  
でいる。

同市高尾の介護老人保  
健施設で、同医師会の「遠  
隔在宅医療支援システ  
ム」を見学。同システム

光ファイバーや無線LAN  
Nを使い、医師と在宅患

者が映像でやりとりする  
技術の説明を受けた。こ  
の後、患者宅を訪れ、I  
Pテレビ電話やデジタル  
カメラが備わった携帯端  
末機を使った実証実験も  
見学した。



「遠隔在宅医療支援システム」の説明  
を受けるザンビアの研修生 (右側2人)